

SHIRAKOBATO

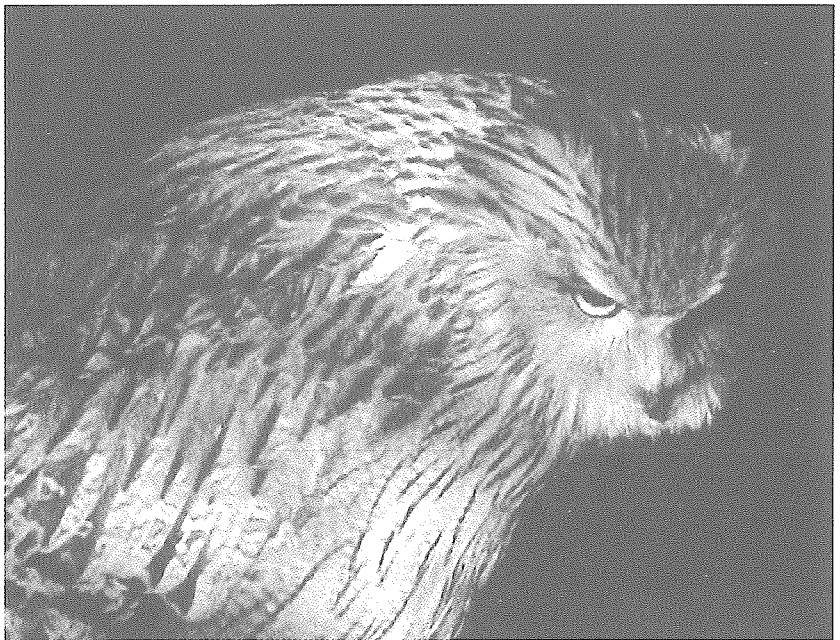
# しらこぼと



2000. **S**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 196

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 総会報告 支部規約変更・新副支部長就任

浦和市内の浦和市民会館7階の会議場で、平成12年6月25日(日)午後1時30分の定刻通り、高文子幹事の司会で、総会に先立つ記念講演・黒沢令子研究員(本部研究センター囑託)「東京のカラスとその生態」が始まりました。

## ●議長等の選出

中島康夫支部長の挨拶の後、議長・藤掛保司、書記・玉井正晴、議事録署名人・大坂幸男・高草木泰行各幹事が選出され、議事に入りました。

## ●11年度事業報告と12年度事業計画案

配布された資料に基づいて海老原美夫事務局長が、11年度中の会員数が減少した一方、年間102回(1ヵ月平均8.5回)の探鳥会開催数、合計4,650人(1回平均45.6人)にのぼる参加者数は前年度を上回ることなどの11年度事業報告と、引き続き基本的な自然保護活動の推進に重点を置く12年度事業計画案が説明され、一括して承認されました。

## ●11年度決算報告と12年度予算案

執行部原案通り承認されましたが、いくつかの点をご説明しますと、

1. 収入の部「仮入金未清算分」は、編集部費用50,000円仮払いしていたところ、実際は51,150円支出し、部長が立て替えた差額を年度中に清算できなかった分です。
2. 支出の部12年度予算什器備品費700,000円は、前月号で紹介した事務局のエアコンに加え、パソコンの購入が予定されているために増額となっています。
3. 支部報発送料は、12年度中に『野鳥』誌との同封発送が予定されていますが、金額的に明確な展望が得られないので、とりあえず11年度と同額の予算を組みました。
4. 家賃の予算額が増額されているのは、12年度は更新の時期に当たるためです。
5. 支出の部の「仮払い金未清算分」は、普

## 11年度決算書・12年度予算書

収入の部			
項目	11年度予算	11年度決算	12年度予算
一般会計期首繰越金	2,066,295	2,066,295	2,358,774
会費	4,500,000	4,623,000	4,600,000
寄付金	100,000	22,461	30,000
探鳥会参加費	300,000	345,259	340,000
雑収入	10,000	2,703	3,000
仮入金未清算分	0	1,150	0
補助金	400,000	400,000	400,000
(小計)	7,376,295	7,460,868	7,731,774
事業部期首繰越金	706,987	706,987	829,524
運営準備積立金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
事業部売上金額	850,000	828,801	850,000
事業部雑収入	10,000	1,417	10,000
(小計)	6,566,987	6,537,205	6,689,524
合計	13,943,282	13,998,073	14,421,298

支出の部			
項目	11年度予算	11年度決算	12年度予算
什器備品費	200,000	179,413	700,000
消耗品費	50,000	6,909	50,000
支部報印刷費	1,500,000	1,088,640	1,200,000
支部報発送料	1,800,000	1,654,740	1,800,000
印刷コピー代	500,000	380,372	400,000
通信費	250,000	180,148	250,000
雑費	250,000	181,338	200,000
家賃	960,000	960,000	1,200,000
水道光熱費	60,000	50,907	60,000
総務部費用	150,000	110,514	150,000
普及部費用	200,000	205,330	220,000
編集部費用	50,000	51,150	50,000
研究部費用	30,000	42,595	30,000
仮払い金未清算分	0	14,670	0
予備費	500,000	0	500,000
一般会計期末繰越金	876,295	2,354,142	921,774
(小計)	7,376,295	7,460,868	7,731,774
事業部仕入金額	680,000	702,761	700,000
事業部費用	10,000	2,520	10,000
雑支出	0	2,400	0
運営準備積立金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
期末繰越金	876,987	829,524	979,524
(小計)	6,566,987	6,537,205	6,689,524
合計	13,943,282	13,998,073	14,421,298

及部費用11年度予算200,000円のところ、普及部の要請を受けた役員会の承認を経て220,000円仮払いし、実際の支出は205,330円。その差額が未清算分として残ったものです。

なお、11年度決算書は、楠見邦博・岡安征也両監事の監査を受けて、適正な処理がされていると認められました。



総会会場

●12年度役員の出選

11年度役員の中から、浅見健一幹事が仕事上の理由でやむなく退任、かわって、北川慎一（本庄市）、中里裕一（騎西町）の2名が新幹事として出選されました。

総会を一時中断して12年度役員による役員会を開催し、11年度の支部長・副支部長・監事2名をすべて再任し、新たに新副支部長として、藤掛保治が選出されました。

12年度の役員体制は次の通りです。

顧問 鈴木忠雄 松井昭吾

支部長 中島康夫

副支部長 海老原美夫 藤掛保司

幹事 石井智 伊藤芳晴 榎本秀和 大坂幸男 北川慎一 工藤洋三 倉林宗太郎 小池一男 小荷田行男 小林みどり 佐久間博文 桜庭勇 島田恵司 杉本秀樹 高文子 高草木泰行 玉井正晴 手塚正義 内藤義雄 中里裕一 中村榮男 橋口長和 長谷部謙二 菱沼一充 福井恒人 森本國夫 山部直喜 吉安一彦 和田康男

監事 楠見邦博 岡安征也

●支部規約の変更

本部の会員制度変更に伴い支部規約上の会員制度名称等を変更し、合わせて既に実質的な運用を停止している支部賛助会員とジュニア会員の制度を廃止しました。



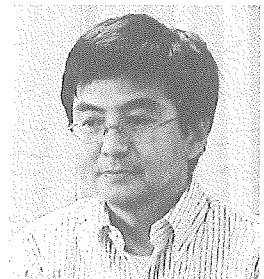
中島康夫支部長



藤掛保司新副支部長



黒沢令子研究員



北川慎一新幹事



司会者 高文子幹事

変更された規約の全文は次のページに掲載します。

新たな年度も、変わらぬ活動を継続します。



中里裕一新幹事

## 日本野鳥の会埼玉支部規約

### 第1章 総則

第1条(名称) この支部は財団法人日本野鳥の会(以下本会と称す)の寄付行為31条に基づき設立され、日本野鳥の会埼玉支部(以下支部と称す)と称する。

第2条(事務所) 支部は事務所を埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号ブリムローズ岸町107号室に置く。

第3条(目的) 支部は自然にあるがままの野鳥に接して楽しむ機会を設け、また野鳥に関する科学的な知識及び、その適正な保護思想を普及することにより、県民の間に自然尊重の精神を培い、もって人間性豊かな社会の発展に資することを目的とする。

第4条(事業) 支部は第3条の目的を達成するために次の事業を行なう。

1. 探鳥会その他の催し物の実施
2. 野鳥等の調査、研究
3. 野鳥を中心とした自然保護に必要と認められる諸活動
4. 支部報その他の出版物の刊行及びその頒布
5. 会員相互の親睦、品位保持、向上に関する施策
6. その他支部の目的を達成するために必要な事業

### 第2章 会員

第5条(構成員) 支部会員は原則として埼玉県内に居住する本会の会員で構成する。

第6条(会費) 1. 会員は総会において定める会費を納入しなければならない。

2. 会員の資格を失った時、既に納めた会費の返還はしない。

3. 会員の種別と会費、入会金は次の通りとする。

個人特別会員 本会会誌『野鳥』と支部報『しらこぼと』を購読する会員

年会費12,000円(本会会費10,000円、支部会費2,000円) 入会金なし

総合会員 本会会誌『野鳥』と支部報『しらこぼと』を購読する会員

年会費7,000円(本会会費5,000円、支部会費2,000円) 入会金1,000円

支部型会員 支部報のみを購読する会員

年会費3,000円(本会会費1,000円、支部会費2,000円) 入会金1,000円

家族会員 個人特別会員、総合会員又は支部型会員の家族

年会費500円(本会会費500円、支部会費なし) 入会金なし

4. 会費の内本会会費については、本会の規定による各種割引制度の適用もある。

第7条(入会) 会員になろうとする者は入会申込書、会費及び入会金を添えて本会又は支部に提出しなければならない。

第8条(退会) 1. 会員が会費を滞納したときは、退会となる。

2. 会員が本会及び支部の名誉を著しく傷つけ又は本会及び支部の目的に反する行為のあるとき、あるいは本会及び支部の存在を害する虞れのあるときは、役員会の決議を経て退会させることができる。

### 第3章 役員

第9条(役員) 支部には次の役員をおく。

支部長 1名  
副支部長 3名以下  
幹事 若干名  
監事 2名

第10条(役員)の選任) 1. 役員は総会において、個人特別会員、総合会員又は支部型会員の中から選任する。

2. 支部長、副支部長及び監事は役員会の互選による。

第11条(役員)の職務) 1. 支部長は支部を代表し業務を総理する。

2. 副支部長は支部長を補佐して業務を掌理し、あらかじめ支部長が定める順位により、支部長が事故あるときはその職務を代行する。

3. 幹事は役員会を構成し支部の業務に関し審議決定し、役員会の互選により会務を分担し事業の遂行をはかる。

4. 監事は、民法第59条の職務を行なう。

第12条(役員)の任期) 1. 役員は任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

2. 役員は任期終了後も後任者が就任するまでその職務を行なう。

3. 補欠による役員は任期は前任者の残任期間とする。

第13条(役員)の解任、補欠) 役員が支部の役員として不適當と認められる時は役員会の3分の2以上の議決又は総会においてこれを解任及び補欠することができる。

第14条(評議員) 本会の評議員として役員のみならず1名互選する。

第15条(顧問) 1. 支部には必要に応じて顧問を置くことができる。

2. 顧問は役員会の承認を経てこれを委嘱する。

3. 顧問は支部の事業について役員会に助言を与えることができる。

### 第4章 総会

第16条(総会) 1. 総会は個人特別会員、総合会員又は支部型会員をもって組織し、通常総会は毎年1回5月又は6月に開くものとする。

2. 臨時総会は役員会が必要と認めるとき又は個人特別会員、総合会員、支部型会員の3分の1以上から会議の目的を示して請求があったとき、開かなければならない。

3. 総会を招集するには少なくとも開催日の7日前には会議の日時、場所、会議の目的を示して会員に通知しなければならない。

第17条(総会の議決) 1. 総会の議事は出席者の過半数で決し、可否同数の場合は議長が決するところによる。

2. 支部規約の変更は出席者の3分の2以上をもって決する。

3. 支部の存在に関わるほど重大であると判断される事項については、会員全員の意思を十分に反映できる方法を考慮しなければならない。

第18条(総会の議決事項) 総会では次の事項を議決する。

1. 規約の変更
2. 役員を選任及び解任
3. 事業計画、事業報告、予算、決算の承認
4. その他支部の運営上特に必要な事項

第19条(役員)の開催、成立) 役員会は、支部長又は役員会の2分の1以上が必要と認めるとき、開催される。

第20条(役員)の議決) 役員会は本規約で定められたものの他、会務執行に関する事項その他の事項を議決して処理する。又その議決は第17条の規定を準用する。

### 第5章 資産及び会計

第21条(資産及び運用) 支部の資産は次の通りとし、経費その他に運用する。

1. 設立当初、支部設立準備会から継承されたもの
2. 会費及び寄付金
3. 事業から生ずる収入及びその他の収入

第22条(事業及び会計年度) 支部の事業及び会計年度は1年として、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

### 第6章 委員会及び部

第23条(委員会及び部) 1. 支部は会務運営ならびに第4条の事業遂行の為、必要な委員会及び部を設けることができる。

2. 委員会及び部の設置及び廃止は役員会で決議する。

### 第7章 分会

第24条(分会) 支部は目的推進のために支部会員で構成された分会を役員会の承認により設置または廃止することができる。

### 第8章 その他

第25条 この規約に定めない事項については、本会の寄付行為の定めるところによる。

### 附則

第26条 1. この規約は、本会理事会にて支部設立の承認のあった日(昭和59年4月24日)から施行する。

2. 支部設立初年度の役員は、第10条の規定にかかわらず、設立準備会に於て決定された役員とする。

3. 支部設立初年度は、以上の規定にかかわらず、第1回役員会を以て総会にかえる事ができる。

(変更：昭和62年6月7日・平成6年6月26日・平成12年6月25日)

# 1999/2000年 第2回モニタリング調査結果

— 武蔵丘陵森林公園 — 日本野鳥の会埼玉県支部研究部

1994年から日本野鳥の会では、本部調査研究センターが中心となって、全国で「鳥の生息環境モニタリング調査」を行っています。

本調査の目的は

- (1) 鳥の生息状況と生活環境の変化
- (2) 環境変化が鳥に及ぼす影響
- (3) 開発規制指針の作成

の諸点を明らかにすることです。5年間を1周期として当支部では

1年目：森林と草原→独自調査

2年目：干潟→当支部シギ・チドリ調査を充当

3年目：湖沼→当支部ガン・カモ・ハクチョウ類調査を充当

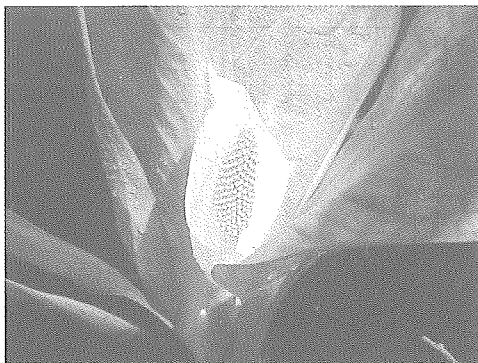
4～5年目：解析と見直し

なるプランに基づいて実行しています。

森林と草原の調査では国営武蔵丘陵森林公園北口近くの森林中に約1kmのセンサス・ルートを設定し、ラインセンサスによって継続調査を行っています。センサス・ルートはクスギ、コナラ、アカマツ、アオハダなどの高木にアズマネザサが林床に生える武蔵野の典型的な雑木林（二次林）に設定しました。

1999年から2000年にかけての第2回森林と草原のモニタリング調査の鳥類のライン・センサス調査結果を、第1回の1994年分も含めて示します（表）。関東地方平地林（二次林）の鳥類群集の典型が表われています。

(小荷田行男)



水芭蕉（後藤康夫）

種 日 時	繁 殖 期		越 冬 期	
	1994.5.29	1999.5.12	1994.1.30	2000.2.12
カワウ		○		○
ツミ			○	
ノスリ			○	
キジバト	○			
ドバト			○	
コジュケイ	○	○		○
ホトトギス	○	○		
アカゲラ				○
コゲラ	○	○	○	○
ヒヨドリ	○	○	○	
ミソサザイ				○
ルリビタキ				○
ジョウビタキ				○
シロハラ			○	○
ツグミ			○	○
ウグイス	○	○	○	○
オオヨシキリ		○		
メボソムシクイ		○		
キクイタダキ				○
キビタキ		○		
エナガ		○	○	○
ヒガラ				○
ヤマガラ			○	
シジュウカラ	○	○	○	○
メジロ	○	○	○	○
ホオジロ	○	○	○	
アオジ			○	○
カワラヒワ	○	○	○	
スズメ	○	○		
カケス			○	○
オナガ		○		
ハシブトガラス	○	○	○	○
ハシボソガラス				○
種 数	12	17	17	19

## 2000年・渡良瀬遊水地このごろ

内田 孝男（茨城県総和町）

冬場の賑わいも一段落した通称鷹見台、3月19日（日）のアシ焼きを転機に春へと一気に姿を変えていく。アシの生長は早く、4月23日（日）埼玉県支部探鳥会の時の春雷のころからすると、一面のアシ原となりオオヨシキリの暑い囀りが響く今日このごろ。

夏鳥のサシバはめっきり数を減らしたが、それでも今年もやってきて子孫を増やしている。トラフズクは数番いが営巣し今年には数を増やすかと期待したが、5月24日を境にオオタカ、カラス、人などのちょっかいで観察できたところが全滅…、そう観察していた自分も外敵か。それでもどこか場所を変えて繁殖する事を願わずにいられない。

6月上旬、ミサゴ2羽がまだ遊水地に居残る。5月中旬には第三調整地入り口の人工沼にセイタカシギが数日立ち寄ったと話を聞いた。カッコウが今年も来た。ヨシゴイも子育てだ。そしてサンカノゴイも、と幹事のTさん、Sさん。

しかし変わらないと思っている遊水池が少しずつ変わってきている。第二調整地の10数基の鉄パイプの槽、野木町方面に見える試掘。1999年11月建設省主催のシンポジウムに続き、2000年5月28日には環境保護団体（遊水地が「治水、利水」の大義名分の下に一方向的に開発されないように、10年前に発足した団体）主催のシンポが開かれた。水が、草木が、昆虫が、旧谷中村住民の末裔が、そして野鳥たちが言いたいことは何なのだろう。双方の「遊水地の将来」が討議され続けている。

古河市在住の茨城県支部のIさんがまとめた渡良瀬遊水地のワシタカ『狩りのさまざま』は猛禽ファンには一読ものだ。北海道を除けば日本最大のヨシ原面積を持つ遊水地、野渡橋上空から西に1羽ササゴイが頭上を飛んでいった。捨てられた野良犬が数匹橋の下流の道路を横切った。



（富士鷹なすび）

## これって思い過ごし？

道祖土修一（蓮田市）

部屋のソファに横たわり、ふくらみ始めたケヤキの新芽を窓越しに見ていると、ずんぐりした小さな鳥が一心に枝の回りを啄んでいる。「シメかな。それにしても小さすぎる」と思い双眼鏡で覗く。スズメだ。よく観ると尾羽がなく、上尾筒までのスズメで、それも初列風切が上尾筒よりも少し出ているように思えた。

6、7年前だったか、このケヤキで2年間ほど巣をかけ子育てまでしたオナガがいた。そのオナガにも尾羽がなかった。

これらは環境的な事なのか、環境汚染による異変？ 争いによる負傷？ 遺伝子の突然変異？ しかし、彼等を見ている限りでは元気にたくましく生きている。

また、翼や首筋に白い部分を多く表している3、4羽のカラスがいて、そのシーズンはよく写真を撮ったこともある。

普段なにげなく見ている周囲に、思わぬ発見があり、それらを現在の自然環境の中に置いていろいろ考えてみると、環境や緑や水辺の大切さ、およびそれらの維持・保存にいきあたるように思える。これって思い過ごしだろうか。

## 私が興奮しているだけ

福井 昭子（浦和市）

3月11日、昨日久しぶりの上谷沼調整池でアカハジロを見たので図鑑を持って出かけた。探す双眼鏡に何か白っぽいカモが見える。頭がグリーンのリゼント。ナポレオンだ。ヨシガモ。こんなところに居てもいいのかなと興奮ぎみで夢中で見続ける。頭のグリーン、首の白、黒い一本の線があって、飾り羽は図鑑ほど長くは見えないが三つに流れるように見えた。ヒドリガモといっしょに行動している。その後毎日のように見に行ったが会えず、21日池の底になる方の流れにヒドリガモといっしょに居た。日の暮れるまで見る。私が興奮しているだけでヨシガモにしてはあたり前の生活なのかも知れない。アカハジロもいっしょに見かける。



春日部市増富 ◇5月3日、ムナグロ数10羽、  
チュウシャクシギ4羽(鈴木紀雄)。  
春日部市内牧 ◇5月19日、砂利道を車で走  
っていたら、目前にコチドリが現れた。よく  
見ると毛玉に足をつけたような小さなヒ  
ナ3羽が動き回っていた(鈴木紀雄)。  
蓮田市黒浜沼 ◇5月24日、カッコウしきり  
に鳴く。29日にも確認。5月25日、コアジ  
サシ16羽(鈴木紀雄)。  
戸田市道満彩湖 ◇5月3日、クロジ♂1羽。  
5月13日、ベニマシコ1羽。5月21日、シ  
ョウドウツバメ3羽(高橋達也)。  
戸田市新曽 ◇5月21日、妙顕寺横の林でコ  
サギ、ゴイサギのコロニー(高橋達也)。  
戸田市戸田公園 ◇5月24日、シメ夏羽1羽  
(高橋達也)。  
戸田市戸田南小学校 ◇5月25日、小学校の  
グラウンドでツグミ1羽(高橋美保子)。  
越谷市大成町 ◇5月22日、レークタウン予  
定地でアマサギ2羽、セッカ3羽(小菅靖)。  
浦和市秋ヶ瀬 ◇5月9日、ピクニックの森  
でコムドリ2羽。道満グラウンドでムナ  
グロ58羽。5月11日、ピクニックの森でコ  
サメビタキ1羽。5月18日、子供の森でア  
カハラのすばらしいさえずり。すぐ近くな  
のに姿は見えなかった(鈴木紀雄)。  
浦和市岸町 ◇5月31日、調神社でカッコウ  
1羽。6月1日、カッコウ2羽、声が全く  
違う2個体。ホトトギス1羽。ホトトギス  
とカッコウとは、10mも離れていないケ  
ヤキの木のでっぺんあたりで同時に鳴いて  
いる時もあった(青山恭之)。

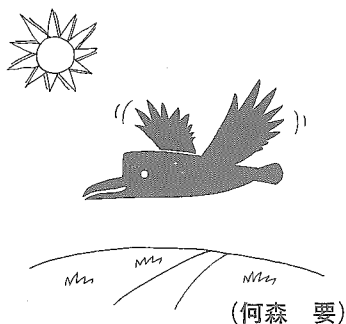
大宮市深作 ◇5月18日、造成地でコアジサ  
シ約20羽、今年も営巣の様。隣のアーバン  
みらいの池で餌をとっていた。5月29日、コ  
ロニーに入ってしまったキジ♂1羽が上空  
からのコアジサシの攻撃を受け、首をすば  
めていた。数10つがにいる模様(鈴木紀雄)。  
大宮市大宮公園 ◇5月27日、第1の池でコ  
アジサシ。1時間程の観察中、私からは見  
えない池の奥のほうから1~4羽が現れて、  
旋回したり池に飛び込んだりを繰り返して  
いた(山田由紀子)。  
東秩父村二本木峠 ◇5月8日、キャンプ場  
下の林でキビタキ♂1羽、オオルリ♂1羽  
♀1羽。ノスリ1羽、トビ2羽。センダイ  
ムシクイ3ヶ所で確認、ヤブサメ、コサメ  
ビタキ5~6羽(後藤康夫・喜久子)。  
寄居町鉢形城址周辺 ◇5月3日、クロジ♂  
1羽♀1羽、イカル、シメ、エナガ、ヤマ  
ガラ(後藤康夫・喜久子)。  
寄居町風布 ◇5月27日、サンコウチョウ♀  
1羽、ホトトギス、イカル(後藤康夫・喜  
久子)。  
嵐山町 ◇5月6日、笛吹峠~將軍沢でハチ  
クマ1羽、オオタカ1羽、トビ1羽、オオ  
ルリ♂1羽、センダイムシクイ1羽、ヤブ  
サメの声、イカル1羽、シメ10数羽、ガビ  
チョウ3羽(後藤康夫)。  
川越市南古谷 ◇5月18日、上空を南南東よ  
りハヤブサ1羽が現れ、高度を上げながら  
いったん北に向かい、戻ってきて旋回。風  
切羽も尾羽もアチコチ抜けてポロポロの個  
体。やがて北へ去った(鈴木紀雄)。  
渡良瀬遊水地 ◇5月21日、第3調節池上空  
でミサゴ3羽、アマツバメ、カッコウ(鈴  
木紀雄)。

表紙の写真

シマフクロウ(フクロウ目フクロウ科ウオミズク属)

榎本氏が、支部の公式行事ではなく私的な探鳥ツアーとして、6月の道東の旅を計画。20  
数名が参加した。目玉は、中標津町養老牛温泉のホテルのロビーから見えるシマフクロウ。  
夕食のビールも控えめに、8時ころから待つこと約4時間。真夜中12時の少し前、ガラ  
ス戸の向こう数メートルの生けすの上に姿を見せた。4度現れて、2度水に飛び込み魚を取  
った。十分堪能してから、あらためてビールで乾杯した。 海老原美夫(浦和市)

# 行事あんない



(何森 要)

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月6日(日)

詳細は7月号をご覧ください。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月13日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居8：49発に乗車。

担当：島田、森本、中里、石井(博)、倉崎、松本、高橋、後藤

見どころ：平地では、鳥と参加者が最も少ない時期です。「とにかく暑い」。嘴を開き喉をふるわせ体を冷やす鳥たち。河原では渡りのはしりのシギやチドリ、天空にサシバ、ツミなどの猛禽類を探しましょう。防暑対策を充分にしてお出かけください。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺(周)、笠原、若林、兼元、森(力)、清水、小菅

見どころ：暑い夏も朝晩は少し涼しくなってきました。見沼たんぼの稲もそろそろ今

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

年の実りを見せてくれます。さて、鳥たちもアシの葉陰や木の葉の間に姿を見せはじめました。過ごした夏休みの思い出を語りながら鳥見をいたしましょう。

## 千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月20日(日)

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9：40発船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。

交通：武蔵野線南浦和8：30→西船橋にて総武線乗り換え、船橋下車。

担当：佐久間、菱沼(一)、中村(榮)、玉井、篠原、齋藤

見どころ：暑い日が続きますが、日本有数の渡り鳥の休憩地、三番瀬ではシギやチドリの秋の渡りが始まっています。コアジサシの大群も見ものです。去年はミヤコドリもきていましたが今年は何



ヒクイナ(編集部)



がきているかな？

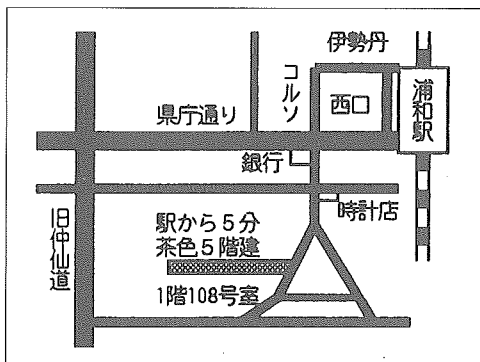
注意：海浜は紫外線が強く日陰也没有  
ので、帽子、飲み水をお忘れなく。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月26日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：二十四節気のひとつ「処暑」（8月23日）が過ぎて、朝夕の涼風に季節の移り変わりを感じるようになります。まだ若いと思っているあなたも、夏の疲れが出てくるころかと思いますが、今日は「袋づめ」をしながら、秋の鳥の時期に備えての情報収集をするというのはどうでしょうか。よろしくご参加ください。



リュウキュウヨシゴイ（編集部）

### 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月27日（日）

集合：午前9時30分、JR武蔵野線南船橋駅改札口付近。

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8：34→南浦和8：37→南船橋9：26着。

担当：杉本、手塚、佐久間、長谷部、伊藤、篠原、齋藤

見どころ：繁殖地から南へ帰る途中のシギやチドリ類が主役です。8月は成鳥が多く、9月になると幼鳥が増えてきます。春より地味ですが、珍鳥の出る季節です。日差しはまだ強いので暑さ対策を万全に。

### リーダー研修会

期日：9月3日（日）午前9時～午後5時

会場：北本市中央公民館第3会議室（北本市本町1-1-2 ☎048-591-7321）

交通：JR高崎線北本駅西口下車、徒歩約10分。駅前大通りを真っすぐ西へ進み二つ目の信号を左折して約100m。

申し込み：8月10日までに支部事務局、または榎本普及部長まで。

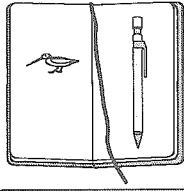
参加資格：探鳥会や支部活動に、リーダーとして協力できる支部会員。

案内：リーダー研修会も今年で17回目。支部の活動や探鳥会の運営に興味のある方の参加をお待ちしています。あなたの新鮮な力を活かしてみませんか。野鳥の識別の講座ではないので誤解のなきよう……。

持参するもの：パンフ『探鳥会のすすめ方』・テキスト『あなたもバードウォッチング案内人』（どちらも、お持ちでない方には当日配布予定）、筆記用具など。なお、昼食は当方で用意します。



シロハラクイナ（編集部）



# 行事報告

3月20日(月、休) 秩父市 羊山公園

参加: 42人 天気: 晴

トビ キジバト コゲラ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ヒレンジャク ジョウビタキ ウグイス エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) 杉花粉をたっぷり含んだ強風が吹き荒れた。鳥数が少ないのは強風のせいによいと考えながら歩いていたりリーダーは、最後にヒレンジャク2羽が出て、言い訳をせずにすんだ。解散後、公園内でお弁当を食べていた人たちが、イカルとコイカルを見つけたとの連絡。桜の新芽を食べている姿を、たっぷり観察できた。早めに帰られた方々にも見てもらいたかったな。本当に残念。(海老原美夫)

3月25日(土) 栃木県 日光東照宮裏山

参加: 54人 天気: 曇

コガモ トビ オオタカ ノスリ ヤマドリ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 3月末とはいえ肌寒い日で、時折小雪が舞った。大谷川ではカワガラスが何羽も盛んに餌をとっていた。滝尾神社の参道では、ルリビタキがばっちりに見られた。この探鳥会では初めてのヤマドリ2羽も見られた。ミソサザイも盛んにさえずっていた。年1回の探鳥地ではあるが、参加者も多く十分に楽しめるどころだ。(中島康夫)

3月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 14人

荒木恒夫、海老原教子、大坂幸男、倉林宗太郎、小池由美子、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、

陶山和良、福井昭子、藤掛保司、藤野富代、増尾隆、松村禎夫

3月26日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 34人 天気: 晴後曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ キジ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス キクイタダキ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 風が若干冷たく感じる中をスタート。カワラヒワ、メジロの鳴き声がしきりと聞こえてくる。降雨の少ないためか、古墳の池に水はなくさびしい。鉄砲山古墳の芝生のところでビンズイ。浅間塚古墳の裏の森でキクイタダキ、ヤマガラ、ヒガラが1本の杉の大木に群れて、ぐっと探鳥会の雰囲気盛り上がる。唯一水のある二子山古墳の池で、水鳥たちとカワセミの早みで大いに堪能。最後は、丸墓山の墳頂に登り、四方を見渡したけれど、鳥影はなかった。風のせいかワシタカ類は出ずじまい。でも、バラエティーに富んだ出現で楽しく終了できたと思う。(内藤義雄)

3月26日(日) 狭山市 入間川

参加: 25人 天気: 晴後曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ トビ コジュケイ コチドリ イカルチドリ イソシギ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ

ハシブトガラス (44種) ツバメ、イワツバメ、コチドリがやってきた。そろそろカモ類は見納め。桜のつぼみはまだ固いが、河原にはカキドオシヤホトケノザが咲いている。新緑の季節が待ち遠しい。(長谷部謙二)

4月2日(日) 北本市 石戸宿  
参加: 76人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ マガモ カルガモ コガモ キジ バン キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 探鳥会に合わせたかのようにエドヒガンザクラが満開で、よい花見ができた。シダレザクラとカタクリのおまけ付き。ウグイスもアシ原から姿を見せてくれた。ベニマシコには振られたが、里山の鳥を近くからじっくり観察できたのが収穫。(岡安征也)

4月2日(日) 浦和市 民家園周辺  
参加: 72人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ チョウゲンボウ キジ コチドリ タシギ セグロカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) ヘルシーロードコースは花盛り。園芸農家の庭先に咲く、赤、白、黄……花を楽しみながらのんびりと歩くことができた。上空を見上げるとツバメがスイスイ。アオジの姿が目立ち始めて、季節は春真っ盛り。(手塚正義)

4月9日(日) 熊谷市 大麻生  
参加: 65人 天気: 晴

カワウ ダイサギ カルガモ トビ オオタカ ハイタカ ノスリ サシバ チョウゲンボウ コジュケイ キジ キジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジ

ロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 桜も咲き、天気も上々で、参加者は60人を超える大人数。これにハイキングの団体も加わり、駅前には人で溢れた。途中の土手も、SLと桜を撮るカメラマンと花見の客で大混雑。お目当てのニューナイスズメは全く姿を見せてくれなかったが、空に猛禽5種、池の周りのヤマガラや居残りのアトリ等で結構多くの鳥を見ることが出来て楽しめた。(和田康男)

4月16日(日) 浦和市 三室地区  
参加: 38人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ チョウゲンボウ バン コチドリ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト アマツバメ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 県道浦和・岩槻線の橋の工事が少し完成したので、昔よく歩いた大道橋の下流の干潟を安全に見られることになった。干潟のイソシギ、タシギ、コチドリをゆっくり見ていたら突然現れた夏羽のユリカモメに全員歓声! 芝川を下ってくると夏羽のノビタキ、空にアマツバメ、チョウゲンボウと、楽しかった。昔の道もいいものだ。(楠見邦博)

4月23日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地  
参加: 39人 天気: 晴れ

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ トビ チョウゲンボウ コジュケイ キジ コチドリ イソシギ タシギ セグロカモメ シラコバト キジバト ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス セッカ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) さすがの渡良瀬もこの時期には残りガモも少ない。デュアスロンの大会があったため、コースを谷田川沿いに変更したが、悪いことは重なるもので、雷雨に遭遇。北方は晴れているので車で北エントランスに移動し親水ゾーンで探鳥会を再開した。端境期で鳥種も33種と少ない。懲りないでまた来てください。(橋口長和)

**連 絡 中 長**

●支部HP10,000カウント

平成10年3月18日の立ち上がり以来2年3ヵ月、今年6月12日に達成。10,000カウント目のお客様には記念品をお送りしました。

●茨城支部の事務局移転

新事務局

●栃木県支部のチョウゲンボウ調査

同支部のチョウゲンボウ保護プロジェクトでは、矢板市山田地区の営巣地から今年巣立った9羽の雛の左脚に赤いカラーリングを付けました。見かけたら、いつ、どこで、何をしていたかを、下記にご連絡ください。

eメール

●タカの渡り全国集会in信州2000

信州白樺峠では毎秋10,000羽以上のタカが渡ります。全国各地の状況話し合い、今後の調査をより充実させるための集会在計画されました。

日時 8月26日(土) 27日(日)

場所 長野県南安曇郡奈川村 奈川村文化センター 夢の森

主催 信州ワシタカ類渡り調査研究グループ  
参加申込み・問合せ タカの渡り全国集会in信州2000実行委員会

nr <http://member.nifty.ne.jp/aviator/rms/rms2000.htm>

基調講演、シンポジウム、現地観察など。

●第14回コニカ・パッケージエイド

集められた寄付はタンチョウサンクチュアリの年間活動経費の約半分を占めています。コニカフィルムの空き箱の側面(開封用のミシン目のある面)を切り取って送れば、1

枚につき20円が、コニカからタンチョウサンクチュアリ基金に寄付されます。

受付期間 2001年1月31日まで

送り先 〒085-1205 北海道阿寒郡鶴居村中雪 裡南 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ「パッケージエイド」係

●会員の普及活動

5月13日(土)熊谷市大麻生で、句会「四季の会」の探鳥会を、和田康男幹事が指導。

6月4日(日)坂戸市鶴舞地区で、「ふるさとの川高麗川を考える会」の第9回野鳥観察会を、増尾隆、増尾節子、黒木昭雄、坂口稔、坂口和子が指導。

●8月の事務局 土曜と日曜の予定

5日(土)編集会議、研究部会議(2時)、普及部会議(4時)。

12日(土)校正作業。(編集・研究部と校正が1週間早くなりました)

13日(日)役員会議。

26日(土)袋づめの会。

●会員数は

7月1日現在2,955人です。

**活 動 報 告**

6月10日(土)事務局整理(山野庸子、渡辺泰子)。

6月18日(日)7月号校正(海老原美夫、大坂幸男、山部直喜)。役員会議(司会:玉井正晴、総会準備・その他)。

6月25日(日)役員会議(司会:海老原美夫、新年度役員体制)。

6月26日(月)7月号発送(倉林宗太郎)。

**編 集 後 記**

今年こそタマムシを手に入れたい。生きたやつだ。関東以西に生息するというタマムシを、岩手で生まれ育った昆虫少年の私としては、40数年憧れ続けている。もちろん、茶色のウバタマムシではなく、色鮮やかなあのタマムシの方だ。(藤原)

『しらこぼと』2000年8月号(第196号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階

(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事はすべて上記ホームページに転載されます。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用